

【緑ヶ丘地区】令和5年度あつぎタウンミーティング実施結果

日 時: 令和5年8月25日(金) 午後6時55分～午後7時50分
 会 場: 緑ヶ丘公民館 2階学習室
 参加者: 地区の自治会長(5名)、公民館地区館長
 市長、副市長、教育長、政策部長、市長室長、センター所長

自治会長からの意見	市長等からの回答
意見1 防犯カメラの維持管理費用について	
<p>【緑ヶ丘2丁目自治会】 ■現在、各自治会が防犯カメラを設置する際、市からの補助がありますが、保守や修理費用などの設置後の維持管理費についても助成していただけないでしょうか。</p>	<p>■自治会等が設置する防犯カメラに対する補助制度については、平成28年度から実施しており、これまでに延べ30団体が45台の防犯カメラを設置しています。 設置からすでに6年以上経過しているものもあり、故障などが発生する可能性も十分にありますので、修繕費等についても、補助対象にできないか検討していきます。 防犯カメラは犯罪の抑止に一定の効果が期待できますが、最近の犯罪では、防犯カメラがある場所であっても事件が発生している事例もあり、防犯カメラとともに地域の皆様の目が大変重要でありますので、引き続き、地域の皆様の見回りや見守りの御協力をお願いします。</p> <p>(担当課: セーフコミュニティくらし安全課)</p>
意見2 ごみ分別等の助成金について	
<p>【緑ヶ丘2丁目自治会】 ■地域の環境美化推進のため、ごみ分別、リサイクルに対する助成金について、引き続きお願いしたいです。</p>	<p>■自治会の皆様には、市で推進しているごみの減量化や資源化において、御協力をいただいております、改めて御礼申し上げます。 皆様方に取り組んでいただいているごみの減量化や資源化の推進については、しっかりと応えていかなければならないと考えています。 来年度についても、引き続き、交付する方向で進めていきます。</p> <p>(担当課: 環境事業課)</p>
意見3 厚木商業高校の跡地利用について	
<p>【緑ヶ丘2丁目自治会】 ■厚木商業高校の跡地利用についてですが、厚木東高校と商業高校合併に伴い、商業高校の跡地利用に関して大規模災害時の駐車場利用や地域コミュニティの場として活用できるように県に働きかけをお願いしたいです。特に、ソフトボール用グラウンドは存続できるようにお願いしたいです。</p>	<p>■県立厚木東高校と県立厚木商業高校の統合に伴い、県立厚木商業高校の校舎やグラウンドが空くことになるわけですが、ソフトボール部の強さは練習によるものと思いますので、統合後においても、練習の場所をいかに確保していくのか、市としても支援をしていきたいという思いは持っています。 しかしながら、厚木商業高校の敷地については県の管轄ですので、厚木王子高校に統合後の跡地利用について、今後の検討が行われているところと聞き及んでいます。 なお、災害時の利用については、県担当課と調整していきます。</p> <p>(担当課: 危機管理、行政経営課)</p>

意見4 県央姉妹都市構想について

【王子2丁目自治会】

■県央姉妹都市構想についてのお話を伺いました。現在、活性化が目覚ましい海老名市や平塚市との連携などは考えておられるのでしょうか。海老名や平塚には大型商業施設がありますが、もっとコミュニケーションをとっていくのでしょうか。

また、厚木市に停車しないロマンスカーも増え、緑ヶ丘地区についても商業施設が疲弊しており、さみしく思っております。

先日、飯山を訪れる機会がありましたが、かつてのにぎわいと比べると、さみしい印象を持ちました。

市の活性化について、市長はどのようにお考えでしょうか。

■県央姉妹都市構想という位置づけにおいては、秦野市、伊勢原、厚木市、愛川町、清川村との連携で、海老名市や平塚市については広域的な連携はありますが、今回の県央姉妹都市構想には含まれていません。

ロマンスカーの停車駅については、鉄道事業者が決定するものでありますが、現在は海老名だけでなく、秦野や伊勢原にも停車しています。ロマンスカーも観光がメインでしたが、今後はビジネス向けにも力を入れていくと伺っています。厚木市には企業も多くありますので、これ以上の減便はないのではないかと考えています。

また、緑ヶ丘地区の商業施設については、市の全体と比較すると日常の買い物をするには、他の地域と比べて、それなりに充実していると認識しています。

飯山については、多くの旅館業が廃業した中で、厚木において飯山、七沢、かぶと湯、広沢寺を総称して、「あつぎ温泉郷」としました。厚木に温泉があることをアピールし、新たな観光を生み出そうとしているところです。新たな時代として、スポーツの聖地の面から、合宿などで飯山を利用していただけよう、また、スポーツに関連して厚木市に多くの方に来ていただけるよう、取組を進めていきます。

《実施日以降の対応状況等》

■あつぎ温泉名称PR事業については、令和5年度下半期において、あつぎ温泉新名称PRキャンペーンとして厚木市観光協会と足湯イベントやPRクーポン配布を行う予定です。

(担当課:行政経営課、観光振興課、スポーツ推進課)

意見5 企業誘致について

【緑ヶ丘2丁目自治会】

■昭和21年から厚木市に住んでおりますが、当時は田舎と変わらない状況でした。工業団地ができてから厚木市は発展したと感じています。

現在は、インターチェンジ付近には倉庫が目立っておりますが、今後は、輸出に強い世界的に活躍する企業を誘致すると、厚木市に多くの税収をもたらすのではないかと思いますので、積極的に誘致していただきたいです。

■厚木市が60年もの長きにわたり地方交付税の不交付団体として自主・自立の行政運営を継続することができていることは、先人たちの御尽力により、多くの企業を誘致したことも大きな要因であると考えています。

今後も、雇用機会の拡大や産業の活性化を推進するため、市外からの新たな企業誘致や市内企業の設備投資などを支援することにより、積極的な企業誘致を推進していきます。

(担当課:産業振興課)